

平成 24 年産夏秋キャベツの生産・出荷状況と今後の見通しについて

全国農業協同組合連合会

平成 24 年産夏秋キャベツの供給計画は、下表のとおりとなっており、これに基づき、計画的な出荷を推進してきたところです。

しかしながら、全般的な野菜価格の低迷が続くなか、産地サイドとしてはこれまで、さまざまな販売促進企画の展開や消費拡大の活動を行うなど、消費を促進する努力を行ってまいりましたが、夏秋キャベツの価格は平均価格を大幅に下回って推移し、生産者としては再生産が困難な状況となっています。

今後ともこのような価格の状況が続く場合には、今後の野菜の安定的な生産・供給を確保するためにも、需給調整もやむを得ないものと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

1. 出荷計画と出荷状況及び販売経過

(1) 供給計画：下表のとおり（平成 24 年 6 月末時点）

単位：トン

	7 月	8 月	9 月	10 月	計
全農群馬県本部	37,095	56,265	53,630	35,190	182,180
全農長野県本部	10,190	11,180	9,950	8,250	39,570
ホクレン	4,457	6,128	5,624	4,810	21,019
全農岩手県本部	4,143	5,015	3,492	2,121	14,771
熊本県経済連	1,400	1,125	1,200	1,325	5,050
その他対象県計	2,365	1,384	1,951	5,250	10,950
対象県以外合計	48,840	36,680	38,620	59,760	183,900
計画全国計 (A)	108,490	117,777	114,467	116,706	457,440
前年実績全国計 (B)	101,535	115,891	111,268	115,140	443,834
過去 3 年実績全国計 (C)	105,451	112,111	110,593	113,797	441,952
前年比 (A/B)	107%	102%	103%	101%	103%
平年比 (A/C)	103%	105%	104%	103%	104%

(2) 出荷および産地状況

ア. 週単位の入荷数量の比較：下表のとおり

単位：トン

平成 23 年	8/1-8/6(6)	8/8-8/13(6)	8/17-8/20(3)	8/22-8/27(5)	8/29-9/3(6)
	5,772	5,632	4,031	5,136	5,343
平成 24 年	7/30-8/4(6)	8/6-8/11(6)	8/13-8/18(3)	8/20-8/25(5)	8/27-9/1(6)
	5,056	5,217	3,916	5,436	5,875
前年比	88%	93%	97%	106%	110%

※全国主要都市の卸売市場入荷数量の合計（括弧内は営業日数）

イ. 主産地の状況

[群馬] 適雨・適温によりキャベツの生育は良好となったため、6月の出荷スタートから順調な出荷となり、前年を大きく上回るペースでの出荷が続いた。7月下旬から8月中旬にかけては、少雨の影響で一時的に前年を下回る出荷となったが、その後の降雨により干ばつ傾向が解消されるとともに、晴天が続いたことから生育が順調に進み、あわせて、市況低迷による適期収穫の遅れもあり、盆明け以降は6玉の出荷比率が増加し、入荷量は再び増加に転じた。（直近の階級比率は6玉30%、8玉67%、10玉3%（平年値は同16%、76%、8%））

[長野] 高温早魃で小玉傾向・生育遅延があったが、盆前後の降雨によって作柄良好となり、日々大玉比率が増加してきている。

[北海道] 高温多湿により病気・腐敗等が若干発生している地区があるものの、生育・作柄は総じて順調。

[岩手] 最近の高温や、一部地区では干ばつの影響あるが、全般的には生育良好。

[熊本] 集中豪雨等により、大きな被害を受け、また、梅雨明後は、高温と干ばつにより株のイタミ等で小玉中心であったが、ここにきて玉太りも徐々に回復傾向にある。

2. 現在の出荷・販売状況と今後の見通し（主産5団体）：下表のとおり

単位：トン

		8月下旬	9月上旬	9月中旬	9月下旬
全農群馬県本部		20,766	23,800	20,600	15,205
	前年比	137%	128%	137%	89%
	計画比	115%	122%	121%	90%
全農長野県本部		3,024	3,623	3,351	2,976
	前年比	77%	98%	127%	92%
	計画比	100%	100%	100%	100%
ホクレン		2,280	1,880	1,386	1,316
	前年比	105%	124%	106%	97%
	計画比	119%	116%	101%	93%
全農岩手県本部		1,900	1,230	1,170	1,061
	前年比	143%	110%	123%	97%
	計画比	99%	102%	101%	97%
熊本県経済連		150	150	150	200
	前年比	44%	47%	47%	59%
	計画比	38%	38%	38%	50%
5団体計	見通し (A)	28,120	30,683	26,657	20,758
	前年実績 (B)	22,937	25,267	20,227	23,191
	計画 (C)	25,319	26,363	23,286	22,835
	見通し前年比 (A/B)	123%	121%	132%	90%
	見通し計画比 (A/C)	111%	116%	114%	91%

【主産地の出荷見通し】

- ・群馬は、出荷最盛期となることに加え、6玉の出荷比率が増加傾向、日量24万ケース以上の出荷ペースを見込む。
- ・長野は、地区によっては早魃傾向も見られたが、適度な降雨もあり総じて順調な出荷が見込まれる。
- ・北海道は、生育・作柄が概ね順調なことから、今後も引き続き順調な出荷が見込まれる。
- ・岩手は、今後収穫となる圃場も現在のところ生育順調なため、出荷量は

増量となる見通し。

- ・熊本は、6月下旬から7月中旬にかけての長雨、集中豪雨により定植が出来ずに9月末まで出荷の増量は見込めない。

以上の各産地の出荷見通しより、依然前年実績を上回る出荷ペースが継続することが見込まれる。一方、真夏日が続くなか、需要が減退している状況を考慮すると、夏秋キャベツに係る経費約 66 円/kg（注）を下回る厳しい販売環境が続くことが想定される。

項目	単位	金額	
品目別経営統計に基づく「10a当たり経営費」 （包装荷造・運搬等経費を除く）	円/10a	168,000	①
①をkgあたりに換算（「kg当たり経営費」）	円/kg	24.63	②
食品流通段階別価格形成調査に基づく 「集出荷・販売経費」	円/kg	41.57	③
合計	円/kg	66.20	②+③

（注） [経営費] 24.63 円 + [集出荷・販売経費] 41.57 円

農林水産省「平成19年品目別経営統計」、同「平成19年産野菜生産出荷統計『夏秋キャベツ・10a当たり収量（群馬県）』」及び同「平成20年食品流通段階別価格形成調査」をもとに試算。

以上

平成 24 年産夏はくさいの生産・出荷状況と今後の見通しについて

全国農業協同組合連合会

平成 24 年産夏はくさいの供給計画は、下表のとおりとなっており、これに基づき、計画的な出荷を推進してきたところです。

しかしながら、全般的な野菜価格の低迷が続くなか、産地サイドとしてはこれまで、さまざまな販売促進企画の展開や消費拡大の活動を行うなど、消費を促進する努力を行ってまいりましたが、夏はくさいの価格は平均価格を大幅に下回って推移し、生産者としては再生産が困難な状況となっています。

今後ともこのような価格の状況が続く場合には、今後の野菜の安定的な生産・供給を確保するためにも、需給調整もやむを得ないものと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

1. 出荷計画と出荷状況及び販売経過

(1) 供給計画：下表のとおり（平成 24 年 6 月末時点） 単位：トン

	7 月	8 月	9 月	計
全農長野県本部	24,550	26,500	34,860	85,910
ホクレン	1,255	1,985	3,995	7,235
全農群馬県本部	1,374	725	819	2,918
対象県以外合計	13,710	14,140	20,580	48,430
計画全国計 (A)	40,889	43,350	60,254	144,493
前年実績全国計 (B)	41,216	43,641	57,566	142,423
過去 3 年実績全国計 (C)	42,159	41,876	59,542	143,576
前年比 (A/B)	99%	99%	105%	101%
平年比 (A/C)	97%	104%	101%	101%

(2) 出荷および産地状況

ア. 週単位の入荷数量の比較：下表のとおり 単位：トン

平成 23 年	8/1-8/6(6)	8/8-8/13(6)	8/17-8/20(3)	8/22-8/27(5)	8/29-9/3(6)
	2,552	2,375	1,889	2,559	2,885
平成 24 年	7/30-8/4(6)	8/6-8/11(6)	8/13-8/18(3)	8/20-8/25(5)	8/27-9/1(6)
	2,365	1,563	1,773	2,584	2,496
前年比	93%	66%	94%	101%	87%

※全国主要都市の卸売市場入荷数量の合計（括弧内は営業日数）

イ. 主産地の状況

[長野] 高温・早魃の影響は出ているが、玉肥大よく、大玉の出荷比率が増加していることも相まって、出荷日量は増加傾向にある。(直近の階級比率は 2 L 37%、L 57%、Mほか 6% (平年値は同 18%、70%、12%))

[北海道] 高温多湿により病気・腐敗等が若干発生している地区があるものの、生育・作柄は総じて順調。平年よりやや大玉傾向。

[群馬] 生育は概ね良好で、出荷時期、階級比率ともに平年並み。品質も良好。

2. 現在の出荷・販売状況と今後の見通し (主産3団体) : 下表のとおり

単位：トン

		8月下旬	9月上旬	9月中旬	9月下旬
全農長野県本部		11,000	11,992	11,008	14,580
	前年比	102%	104%	111%	102%
	計画比	100%	100%	100%	100%
ホクレン		333	387	558	1,275
	前年比	97%	108%	103%	104%
	計画比	88%	86%	94%	98%
全農群馬県本部		240	196	245	303
	前年比	98%	103%	103%	102%
	計画比	103%	100%	100%	100%
3団体計	見通し (A)	12,575	11,811	16,158	20,758
	前年実績 (B)	12,126	10,665	15,807	23,191
	計画 (C)	12,640	11,849	16,180	22,835
	見通し前年比 (A/B)	104%	111%	102%	90%
	見通し計画比 (A/C)	99%	100%	100%	91%

【主産地の出荷見通し】

- ・長野は、9月上旬からはさらに出荷日量は増加する見込み。また、高温の予報は続くが、降雨次第では増加になる見込み。8月23日頃から0157食中毒の風評被害により、浅漬けの売れ行き鈍く原料の契約取引で一部キャンセルが出始めている。今後の影響についても不透明な状況。
- ・北海道は、生育・作柄が概ね順調なことから、今後も引き続き順調な出荷が見込まれる。
- ・群馬は、生育は順調であることから、計画並の出荷を見込む。

以上の各産地の出荷見通しより、依然前年実績を上回る出荷ペースが継続することが見込まれる。一方、真夏日が続くなか、需要が減退している状況を考慮すると、夏はくさいに係る経営費約 64 円/kg（注）を下回る厳しい販売環境が続くことが想定される。

項目		単位	金額	備考
経営費(流通経費含む)	①	円/10a	576,514	「長野県 はくさい栽培指標」より
単収	②	kg/10a	9,000	「長野県 はくさい栽培指標」より
経営費(流通経費含む)	③=①/②	円/kg	64.06	

以上